

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2020年 2月 25日

事業所名：

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習、室内活動など児童がそれぞれの時間を自身のペースで行えるような、区切って使用できるスペースが確保されている	13名の回答のうち、お仕事等の都合で内覧できなかった1名の保護者様以外からは「はい」という回答をいただきました	土曜日等に授業参観のようなイベントを定期的に設け、活動や支援を気軽に立ち寄り知っていただけるような機会を設けていきます
	2 職員の適切な配置	保育士以外にも様々な経験を持っている人員がいることで偏りなく多様な考えを持って支援ができていますが、配置人数としては今後の課題と考える	13名の回答のうち、5名の保護者様から「わからない」との回答あり。それ以外は「はい」といただきました	配置人員の抜け等がないよう確認とともに記録を残していきます
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内においてはバリアフリーなど問題なく整っているが、手すりはあるものの玄関前の階段が少し急になっているため日々注意を促している	13名の回答のうち、1名の保護者様から「わからない」と回答をいただきました	改善不可能かつ危険と認識している屋外の階段については、今後も十分促し等を徹底していきます
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	必要な清掃活動は毎日行っており、季節性の感染等を防ぐための消毒等や予防ポスターの掲示も行っている	13名の回答のうち、2名の保護者様から「わからない」と回答をいただきました	今後も清潔な環境を提供できるように努めます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員6名、5段階評価のうち「4」 日々の問題提示と対応についてなど、概ね職員間で共有し行うことができていた		今後、しっかりと時間設定し行うことで、広がりや内容の充実に繋げられるようにしていきます
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	職員6名、5段階評価のうち「3.6」		開所間もないため外部からの評価は受けていません。必要の可否により、今後進めていきます
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員6名、5段階評価のうち「3.1」 希望者がそれぞれ自主的に参加している		知識向上のための研修については、必要に応じピックアップし参加と提示を行い参加していけるようにしていきます
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	職員6名、5段階評価のうち「4.6」 年齢や段階、それぞれのお困りごとによってアセスメント方法を変えています	12名の回答のうち、「自身が分析できていないため…」の、1名の保護者様のみ保護者様「わからない」と回答をいただきました。	現状の評価と課題、ニーズをしっかりと共有させていただき、必要性を明確にできるよう提示しながら作成をしていきます
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	職員6名、5段階評価のうち「4.8」 保護者様や学校(担任)と情報の共有をすることで状況を認識し、必要な活動を適宜計画に取り入れるよう心がけています		各児童の個性や状況を理解し、かつストレスに配慮した計画の作成を心がけていきます
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	項目、具体的な支援内容の欄を設け行っています。	13名の回答のうち、「自身が分析できていないため…」と、1名の保護者様のみ保護者様「わからない」他1名「どちらともいえない」と回答をいただきました。	現状の評価と課題、ニーズをしっかりと共有させていただき、より必要性を明確に支援内容を提示できるようにしていきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	適宜必要性を視野に入れた支援を目指し行っています	13名の回答のうち、2名の保護者様から「わからない」と回答をいただきました。「どんな支援が必要かわからないので教えてほしい」	定期的に(1回/1M程度)現状と目標の確認を行いながら進めていけるようにしていきます
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員6名、5段階評価のうち「4.8」 支援リーダーを中心に活動のプログラムを組み立てている		支援リーダーを中心に、月ごとに担当リーダーを決め、積極的に動きやすい環境を設定していきます
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	職員6名、5段階評価のうち「4.8」 緊急時に備え、休日、時間外においても管理者携帯はつながるようにしている		現状を維持しながら必要時には対応をしていきます
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	職員6名、5段階評価のうち「4.8」	13名の回答のうち「どちらでもない」「わからない」との回答を1名ずついただきました。このほか、「プログラムを楽しんで通えている」との声もいただきました	児童の成長に合わせたプログラムの設定を今後も続けていけるようにしていきます。また今後、施設見学等の機会も設けていきます
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員6名、5段階評価のうち「4」 必要に応じて行っているが、日々の分担についてはそれぞれが確認し状況の変化に合わせて行うほか、適宜疑問があれば確認をするスタイルとなっている		朝礼時に必要事項等の確認を行っていきます
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員6名、5段階評価のうち「4.1」 退社時間の違いもあり全員ではないが、必要に応じて行うことができる		朝礼時に情報の共有の徹底を行っていきます。欠席者のいる場合は職員連絡ノートを利用していきます
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	職員6名、5段階評価のうち「4.5」 常勤職員を中心に行っている。記録内容に関しては、他職員と情報を共有し記録		今後も漏れのないように継続していきます
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	職員6名、5段階評価のうち「4.1」 開所間もなく、特性の把握や様子見の期間もあり、適切な見直しが難しかった		定期的に状況と目標の確認を行っていくことで、適切な時期での計画の見直しを図っていきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	職員6名、5段階評価のうち「4.3」		必要時には積極的に行っていきます
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要な児童の利用登録がありません		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要な児童の利用登録がありません		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	職員6名、5段階評価のうち「3.3」 系列内の児童発達支援事業所からの児童に関しては、しっかり共有できているが、他機関の場合はご家族の意向や同意のある場合のみとしている		今後も、ご家族の意向や同意をもとにすすめていきます
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、該当年齢の利用者様がいません		就労支援関連での経験を持った職員が多くいるため、必要時にはご家族、学校等と連携し情報の提供を行っていきます
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員6名、5段階評価のうち「3.5」 開所間もないこともあり、まだまだ他機関との連携等が少ない状況		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	職員6名、5段階評価のうち「3.1」	13名のうち、「わからない」8名、どちらともいえない「1名」、「いいえ」1名の回答をいただきました	保護者様から「機会が増えれば勉強になるかもしれない」という意見もありましたので、今後積極的に機会を検討していきたいと考えます
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	職員6名、5段階評価のうち「2.5」 開所間もないため、地域住民等との交流はまだまだ少ない状況		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	職員6名、5段階評価のうち「4.6」 送迎時や連絡帳を使って支援内容等の状況をお伝えしてる	13名のうち、「わからない」1名	現状の報告等を継続していくほか、疑問等を含め丁寧に対応していきます
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	職員6名、5段階評価のうち「4.6」	13名のうち「わからない」1名「どちらともいえない」4名と回答をいただきました	現状の評価と課題、ニーズをもとに支援内容を提示できるようにしていきます
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	職員6名、5段階評価「3.3」 日常的な面での簡単なアドバイス程度は行っているが、専門的な意味でのペアレント・トレーニングは行っていない	13名のうち「わからない」5名、「どちらともいえない」1名、「いいえ」2名と回答をいただきました	今後、積極的に勉強会等へ出席し知識向上していけるよう検討したい
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	職員6名、5段階評価のうち「4.5」	13名のうち「どちらともいえない」2名「わからない」1名と回答をいただきました	朝礼時に情報の共有の徹底を行っていきます。欠席者のいる場合は職員連絡ノートを利用していきます
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	職員6名、うち5段階評価「4.5」 支援として行っている内容等をお伝えすることがあります。また相談を受けた際は戻った後に共有や意見交換をしています	13名のうち「どちらでもない」「いいえ」の回答を1名ずつ、「わからない」2名いただきました	朝礼時に情報の共有の徹底を行っていきます。欠席者のいる場合は職員連絡ノートを利用していきます相談の際に対応できるようにします
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現状としては開所間もないこともあり行っていません	13名のうち「わからない」2名、どちらともいえない1名、「いいえ」6名 ご意見の中には「話を聞いてみたい」「保護者同士の連携は必要ない」と様々いただきました	保護者会の実施についての希望日等のアンケートを行い進めていきます
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご相談を受けた際には、その場で謝罪し持ち帰り職員間で話し合いをしています。その後どのようにしていくか(したか)を保護者様へお伝えしています	13名のうち「わからない」2名、「いいえ」1名、「どちらとも…」1名の回答をいただきました。鈍さを感じたことがある」とのご意見をいただきました	気持ちに寄り添った対応を迅速に心がけていきます
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	職員6名、5段階評価のうち「4.6」 様々なツールなどそれぞれに伝わりやすい方法をチャレンジしながら見出しています		今後もそれぞれに合わせた対応方法を見つけ配慮できるよう心がけていきます
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	職員6名、5段階評価のうち「4.8」 利用者間のみ2カ月に1回通信を配布の他、週に1度インスタグラムで活動等をご紹介させていただいています	13名すべての保護者様から「はい」の回答をいただきました	今後も個人情報等に十分注意しながら、日々の活動の様子、子供の成長や支援を知っていただけるよう配信していきます
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員6名、5段階評価のうち「4.8」 しっかりと確認等ダブルチェックしています	13名のうち「どちらでもない」1名の回答をいただきました	様々な点において、十分注意し取り扱っていきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員6名、5段階評価のうち「3.5」	13名のうち「わからない」「いいえ」ともに1名ずつの回答をいただきました	内容を厚くし周知できるように勉強会を設けていきます
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員6名、5段階評価のうち「3.6」 現在、警報時対応等についての用紙を昨年配布させていただいている。また避難場所とされているところへは日頃から公園での運動として立ち寄っている	13名のうち「わからない」「どちらともいえない」ともに1名の回答をいただきました	今年度については3月に避難訓練を行う旨を保護者様へは通知済み。来年度に関しては、年に2回程度として検討しています
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員6名、5段階評価のうち「4.1」 年に1回程度「虐待研修」として行っている		年1回の定期研修の他、新しい職員の入職のたび全職員(可能な限り)再確認のため研修への参加
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	職員6名、5段階評価のうち「3.6」 現在、身体拘束を必要とする重度の児童は利用されていない。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	職員6名、5段階評価のうち「4」 現在、食物アレルギーをお持ちの児童の利用登録はない		利用開始前の聞き取り、アセスメント時に確認させていただいています
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員6名、5段階評価のうち「4.6」 適宜話し合いの機会を設けています。事業所内の他、系列事業所とも共有し再発防止のための会議を行っている		今後も継続し事故等の発生を防止できるようにしていきます